

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	女性の再チャレンジ支援講座「ビジネスに生かすIT活用講座」		
法人名	学校法人岩崎学園		
学校名	情報科学専門学校		
代表者	理事長 岩崎 幸雄	担当者 連絡先	石井 宏光 TEL 045-311-5562
<p>1. 事業の概要</p> <p>子育て等により比較的長期間にわたり離職されていた女性を対象に、ITスキル活用力習得のための講座を開催し、再就職支援を目的とするものである。講座開設にあたっては初心者向けの「ビジネスPC入門コース」(9:00～12:00)と中級者向けの「ビジネスPCスキルアップコース」(14:00～17:00)の2つのコースを設けた。両コースとも5講座から構成される(1講座は5日間)。</p> <p>子育て中等の女性に対するフォローとして、講座期間中に、希望者に対して一時保育を実施した。講座開設教室と同じフロアに保育スペースを設置し、専門のベビーシッター2名を配置した。一時保育の申し込みは、1歳6ヶ月～未就学児を対象とし、事前予約制とした。</p> <p>また、各講座が終了後の土曜日・日曜日には、講座の復習や疑問点・不明点についての質問を受け付けたり、欠席した日の補習として活用できるよう、フォローアップ指導日を設けた。</p> <p>さらに、2コースが終了後、発展講座である「ビジネスシーンで活躍する女性のためのスキルup講座」を設けた。グループワークでのディスカッションやプレゼンテーションにより、ビジネスの場における思考スキルを習得することを目的とした。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>(1)ニーズに沿った講座設定ができた。 先着順の申込という状況下で、総定員200名に対して265名の申込をいただいた(1.3倍)。</p> <p>(2)熱心な受講であった。 受講確定後のキャンセルも見られたが、総定員200名に対して受講者185名と、高い受講率(92.5%)となった。</p> <p>(3)就職についての実績については、事業終了3ヶ月後に実施予定。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>(1)教育コンテンツを開発し、女性の再就職支援の講座を開設することができた。 事業終了後も次回の問合せが多数寄せられており、次年度開催時の教材のベースとすることができる。 また、女性の再就職支援のためのIT教材であるが、他の対象の教育教材へのコンバートも可能である。</p> <p>(2)女性の社会参画支援機関との事業連携を図ることができた。 横浜市男女共同参画推進協議会などの機関連携を推進することができ、今後の協働を図ることができた。</p> <p>(3)一時保育サービスを導入することができた。</p> <p>(4)土曜日・日曜日の復習、疑問箇所・不明箇所のフォロー教育は一定の効果があった。</p> <p>③今後の活用</p> <p>(1)離職中の女性を対象とした再就職支援のための教育の継続的实施において、作成したプログラムを更に充実しつつ活用を図っていく。</p> <p>(2)女性の社会参画支援を行っている団体等へも、本プログラムを積極的に紹介していく。</p>			

④次年度以降における課題・展開

(1)告知方法の検討

本事業の受講者募集にあたっては、女性の購読が多いという評価の地域のミニコミ誌等を活用した。しかしながら、事業終了後に本講座を人づてに聞いたという方の問合せが多く、多くの対象者に訴求する告知方法の検討が必要である。

(2)受講者フォロー方法の検討

本事業では、講座での疑問箇所・不明箇所の個別フォローのため、土曜日・日曜日に、希望者の参加によるフォロー講座を開催した。効果を生むことはできるが、同時にコストも発生する。次年度に向けて、あらたなフォローのあり方について検討が必要である。

3. 事業の実施に関する項目

子育て等により比較的長期間にわたり離職されていた女性を対象に、ITスキル活用力習得のための講座を開催し、再就職支援を目的とするものである。講座開設にあたっては初心者向けの「ビジネスPC入門コース」(9:00～12:00)と中級者向けの「ビジネスPCスキルアップコース」(14:00～17:00)の2つのコースを設けた。会場は情報科学専門学校新横浜校。

●「ビジネスPC入門コース」の開催日程と申込者数と受講者数(定員は各講座とも20名)

- ・1/28(月)-2/1(金) パソコン基礎講座 申込者30名、受講者19名
- ・2/4(月)-2/8(金) Word講座 申込者36名、受講者20名
- ・2/11(祝・月)-2/15(金) Excel講座 申込者38名、受講者20名
- ・2/18(月)-2/22(金) ホームページ作成講座 申込者28名、受講者17名
- ・2/25(月)-2/29(金) インターネット講座 申込者27名、受講者15名

●「ビジネスPCスキルアップコース」の開催日程と申込者数と受講者数(定員は各講座とも20名)

- ・1/28(月)-2/1(金) ”これで決まり!”の文書術 申込者22名、受講者20名
- ・2/4(月)-2/8(金) めざす”表計算”の達人! 申込者21名、受講者20名
- ・2/11(祝・月)-2/15(金) ”データベース”なくしてビジネスは動かない 申込者21名、受講者19名
- ・2/18(月)-2/22(金) ビジネスの節目を左右する”プレゼンテーション” 申込者19名、受講者15名
- ・2/25(月)-2/29(金) ”現代版分身術”ホームページ 申込者23名、受講者20名

子育て中等の女性に対するフォローとして、講座期間中に、希望者に対して一時保育を実施した。講座開設教室と同じフロアに保育スペースを設置し、専門のベビーシッター2名を配置した。一時保育の申し込みは、1歳6ヶ月～未就学児を対象とし、事前予約制とした。期間中の延べ預かり人数は141名であった。

また、各講座が終了後の土曜日・日曜日には、講座の復習や疑問点・不明点についての質問を受け付けたり、欠席した日の補習として活用できるよう、フォローアップ指導日を設けた。利用者は、第1週目が16名、第2週目が6名、第3週目が8名、第4週目が6名、第5週目が14名であった。

さらに、2コースが終了後、発展講座である「ビジネスシーンで活躍する女性のためのスキルup講座」を設けた。グループワークでのディスカッションやプレゼンテーションにより、ビジネスの場における思考スキルを習得することを目的とした。受講者は、2コースの受講者の中の希望者11名。3日間(9:00-12:00)のテーマは次の通り。

- ・3/4(火) (1)視点転換で資源リサーチ (2)シミュレーションで情報編集 (3)ポジティブディスカッション
- ・3/5(水) (1)与えられる情報、引き出す質問 (2)仮説・検証・修正サイクル (3)プレゼンを使って視野拡大
- ・3/6(木) (1)修正・仮説・行動・検証サイクル (2)周りを動かすコミュニケーション (3)提案タイプ説得型&納得型

就職状況調査に関しては「事業計画書」にて記載の通り「事業終了3ヶ月後に、就職状況調査を文書で行い、フォローする」ことを予定している。